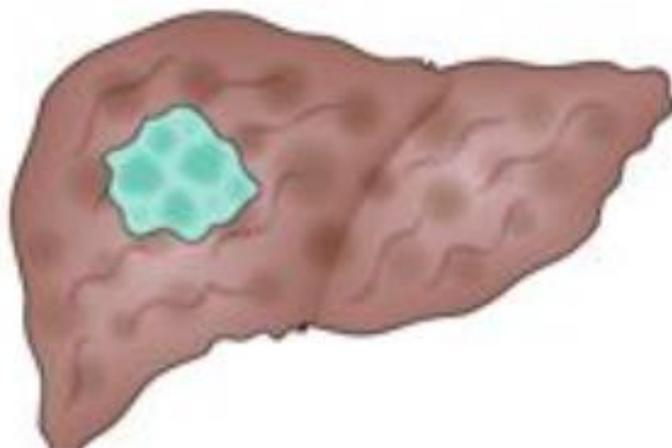


肝細胞癌患者へのラジオ波焼灼療法

重度肝硬変を伴うミラノ基準内の肝細胞癌（HCC）患者 100 例を対象に、集学的ラジオ波焼灼療法（RFA、62 例）と腹腔鏡下肝切除術（Lap-HR、38 例）の術後転帰および生存率を比較した結果が *Surgical Endoscopy* 誌に掲載されました。



RFA 群は Lap-HR 群に比べ、手術時間 (166 分 vs. 288 分、 $P < 0.0001$) および入院期間 (7 日 vs. 11 日、 $P = 0.0002$) が短く、失血量も少ない結果となりました (8g vs. 377g、 $P < 0.0001$)。また、全生存率および無病生存率に有意な差は見られませんでした。

